

西京・医療出前講座を開催しています

西京区役所へご依頼のあった西京区在住、もしくは職場のある団体を対象に、病院スタッフが出向いて講演をおこなう出前講座を開催しています。

今回は、心臓リハビリテーション上級指導士による「健康寿命を延ばしてより良い生活を！生活のコツ」を講演いたしました。

西京・医療出前講座にご興味のある方は、西京区役所のホームページをご覧ください。



YouTube
公開講座「いきいき健康教室」動画配信中

リンクまたは二次元コード読み取りで
ご覧いただけます。

https://www.youtube.com/playlist?list=PLPrr2_-Zvoj2ZZaPYK1RTEWfrhg-AD4Ya



<https://mitsubishi-hp.jp>

京都府がん診療推進病院

三菱京都病院

MITSUBISHI KYOTO HOSPITAL

救急告示病院 人間ドック・健診施設機能評価認定施設
日本医療機能評価機構認定病院 厚生労働省指定臨床研修病院

〒615-8087 京都市西京区桂御所町1番地
TEL 075-381-2111 FAX 075-392-7952

予約専用ダイヤル **075-381-7811**

セカンドオピニオンをご希望の方も予約専用ダイヤルにお電話ください。

がん相談窓口(患者支援センター)【(月~金)10:00~16:00】
TEL:075-381-2111 FAX:075-392-7952

ACCESS



阪急電車

■京都市営バス

お車の方

■京都方面からは西大橋から信号4つ目左折50m左折
■亀岡方面からは阪急のガードを越え、次の信号右折50m左折

京都市営バス

■73系統(京都駅~洛西バスターミナル)上桂前田町下車徒歩3分
■70系統(太秦天神川駅~JR桂川駅)上桂東ノ口下車徒歩5分
■69系統(みぶ~桂駅東口)上桂西居町下車徒歩10分

京阪京都交通バス

■27・21系統(桂坂中央~京都駅前)上桂前田町下車徒歩3分
亀岡・園部方面から27・21系統への乗り継ぎは、1・2系統国道
中山(下車)乗り換え

無料送迎バス

■阪急桂駅西口より約20分間隔で運行中
※開院日以外は運休しています。

【開院日】

時間	阪急桂駅西口発	三菱京都病院発
8時	00 20 40	13 33 53
9時	00 20 40	13 33 53
10時	00 20 40	13 33 53
11時	00 20 40	13 33
12時		50 43
13時	10 30 50	03 23 43
14時	10 30 50	03 23 43
15時	10 30 50	03 23 43
16時		03 23 43



※予告なく変更・中止する場合がございます。
※道路事情・その他諸事情により乗車場所が移動する場合がございます。
※定員オーバー、交通事情により遅れる場合があります。ご了承ください。
※開院日以外は運休しています。

himawari

三菱京都病院 75
2024 winter Vol. 75

CONTENTS

TOPICS
病棟のご紹介

きらめくみつびし仕事人 第3回
退院支援看護師の
伊藤 洋さん

新任医師の
ご紹介

TOPICS
第3回
オープンホスピタルを
開催しました

理学療法士が紹介！
健康ストレッチ 第20回
『肩甲骨はがし』

ひまわり新春対談2024 「三菱京都病院が目指す看護とは」



ひまわり新春対談 2024

三菱京都病院が目指す看護とは



病院長
尾池 文隆
(おいけ ふみたか)

副看護部長
林 知江美
(はやし ちえみ)

看護部長
嶋 雅範
(しま まさのり)

尾池文隆病院長、嶋雅範看護部長、林知江美副看護部長に、2024年に三菱京都病院の看護部が目指す姿と抱負について、それぞれ一文字を用いて語ってもらいました。

今年の一文字

尾池病院長：あけましておめでとうございます。恒例のひまわり新春対談ですが、2024年は看護部が主役。嶋さん、林さんをお招きしました。看護が目指す姿と抱負を漢字一文字で表せ、という編集部からのむちゃぶりですので、清水寺貫主になったつもりで今年の漢字を選んでいただきたいと思います。まずは聞き手の私から。新年、病院のために私は「結」を選びました。コロナ禍を越えて、去年生まれたあかちゃん、は、「ゆい」の字を使った名前が増えたそうですよ。

林副看護部長：わかりやすい字を選びましたね！今の病院に何より必要なのは「つながり」や「きずな」ですもんね。

嶋看護部長：私は「新」です。今年は3年に渡るコロナ禍の影響から脱却し、新たに看護部を作り直していきたいという願いを込めています。リスタートしたいという意味で「再」にしようかとも迷ったのですが、再スタートというより、新たな看護部にしたいという気持ちが強かったので、「新」としました。

林副看護部長：私は過去と未来を表す文字を意識して「創」にしました。この文字は「きず」とも読みます。コロナ禍の3年間、様々な制限や混乱によって患者さん、ご

家族、そして私たち医療者にとっても辛い日々で、まさに「きず」を感じた過去でした。一方で、創始、創出など未来を示す意味もあります。コロナ禍で感染対策が強化される中、オンライン面会やweb研修などのデジタル技術の活用が推進されました。ICTを活かして三菱京都病院の新しい看護を創っていききたいですね。また看護部では世代交代も進んでいるので、次世代が中心になってこれからの看護を「創造」できる環境を整えていきたいという意味も込めています。

尾池病院長：私は新卒の看護師たちと話をすると、自分がおじいさんになった気がしますが、お二人は「Z世代」の新人たちに戸惑いを覚えることはありますか。

嶋看護部長：Z世代が私たちと違う考え方を持っているということは認識した上で、アプローチしないといけないでしょう。でも、「Z世代は理解不能」っていう今の風潮は言い過ぎではないかな。人間であること、看護師であることに変わりはありませんから。

林副看護部長：私たちも、新人の頃は「新人類」と呼ばれていました。先輩世代にとって私達自身、理解不能だったんですよ。でも先輩方は私達とのギャップに興味を持って前向きに関わってくれた、だから私は今まで動き続けられたんじゃないかな。世代間ギャップ

に戸惑うことはありますが、私も世代の背景を考えて前向きに接するようにしています。

高度急性期医療を提供する病院の看護部として

尾池病院長：当院は「高度であたたかい医療」を提供する病院です。私は外科医ですが、常に前向きな気持ちで考えないと手術なんてできない、患者さんに急性期医療は提供できないと思ってきました。今、どの病院の院長に聞いても、看護師さんが辞めていくと困っています。この難しい時期に、現場の看護師に前を向いて働いてもらえるようにするにはどうしたらよいのでしょうか？

嶋看護部長：コロナ禍ではコロナ患者さんを受け入れるために、また同時にそれ以外の患者さんを最大限に受け入れるために、看護職員にはずいぶん無理をさせてきたと思います。そういった中で、看護職員は、配属された診療科の専門性を高めたいと思ってここまで手が回らない状況でした。これまで当院の看護部を志望してくれた人に聞くと、ほとんどが「教育体制がしっかりしている」という点に大きな魅力を感じてくれたんです。看護の専門性を高める教育がおこなえる、私達本来の看護部に立て直していきたいと思います。

尾池病院長：「実習が非常によかった」という理由で当院に入ってくれる看護師も多いそうですね。

嶋看護部長：しっかりした教育で、看護師として高みを目指していく感覚を持ってもらえるように、われわれもうまくサポートしていかなければいけないと強く感じています。

林副看護部長：わたしたち看護部の理念である「誠実であたたかい看護を提供する」とはどのようなことなのか、そのためにできることは何か、看護職員と一緒に前向きに考えていきたいと考えています。新年ですし、もう一度原点に戻ってね。

コロナ禍での経験を今後活かす

尾池病院長：医療者としては目の前の患者さんを助けることが何より大切ですが、それに加えて自分の経験を他に伝えることも同じくらい大切、これもコロナで痛感したことの一つです。思い出して下さい。2020年、コロナの治療なんてどうしたらいいのか、誰にも何ひとつわかっていませんでした。かなり情報は混乱しましたが、それでも、世界中が情報をシェアすることでこれほど短期間に対処法が確立したともいえる。医者が論文を書くことの意義も簡単に言ってしまうと、自分の経験・知識・スキルを「シェアする」ことにつきます。

林副看護部長：それは看護にも言えることだと思います。先輩看護師がおこなっている看護を見ることや経験を聞くことから自分のスキルに生かしたりしているケースは非常に多いです。ただコロナ禍の影響で、一緒に食事をしなくなったり、仕事が終わったら雑談もせずすぐに帰ったりするようになって、この3年は話す機会がめっきり減りました。この時期に育ってきた新人たちに、伝えられていない部分があるような心配、何か喪失感があります。

尾池病院長：当院は科と科の垣根が低く、職員間のコミュニケーションが密に取れる点が特長ですね。医師や看護師間で「この患者さんについて意見を教えてほしい」というようなやり取りがスムーズだったのが、コロナ禍の影響で声をかけづらくなったところもあるのではないのでしょうか。

嶋看護部長：そんな中で看護部をどう変えていくかが重要ですね。当院で働く看護師が働いて楽しい、さらに学びたいと思えるような、明るい未来の見える組織にしたいです。新人が入ると、新しい風が入るというメリットもあります。コロナ禍での経験を前向きに捉えて今後活かす、ずっと一緒に頑張ってきた仲間はもちろん、新たに当院に加わってくれる方々も大事にしていく看護部でありたいですね。



病棟のご紹介

「私たちは、患者さんの人間性を尊重し、誠実であたたかい看護を提供します」の看護理念に基づき、看護のこころを大切に、質の高い看護の実践に努めています。

2階病棟

女性病棟ならではのきめ細やかな看護を提供します。

2階病棟は、産婦人科・小児科・乳腺外科を主科とする産科混合病棟です。妊娠34週～36週の早産児や低体重児に対応するためNICUを併設しています。地域周産期母子医療センターとしての役割も担っています。分娩件数は年間約450名で、出産だけでなく産後のサポートにも力を入れています。



3階病棟

入院・手術・リハビリテーション・在宅支援を一貫しておこないます。



こんにちは、3階病棟は主に整形外科を担当しています。こちらに入院される患者さんの目的は、頸椎・胸椎・腰椎の病気や膝や股関節の病気・骨折などがあり、幅広く対応しています。当病棟では、患者さんが生活の中で何を大切にしていきたいかを一番に考えています。医師・看護師・理学療法士・作業療法士・メディカルソーシャルワーカー・薬剤師で、退院後を安心して過ごしていただけるように協力しています。

4階病棟

循環器疾患に関する緩和ケアにも力を入れています。

4階病棟は、主に心臓内科、心臓外科、腎臓内科、眼科を担当しています。病気の治療と共に、ご自宅での生活管理が大切になります。病気やお薬、食事、リハビリの管理について、その方の生活に合わせたアドバイスが出来るよう多職種(医師、看護師、薬剤師、理学療法士、管理栄養士、ソーシャルワーカー、臨床心理士)が協力していきます。



5階病棟

外科的手術を受けられる患者さんの看護ケアをおこないます。

5階病棟は、消化器内科・外科、呼吸器外科、腫瘍内科、口腔外科の診療科を担当しています。侵襲のある検査前後の看護ケア、また外科的手術を受けられる患者さんへの看護ケアをおこなっています。スタッフの中には、皮膚・排泄ケア認定看護師も在籍しております。人工肛門造設後の患者さんには、不安なく退院を迎えられるように、繰り返しケア方法を練習して頂き自立支援をサポートしています。さらに、退院後も外来にて継続したサポートをおこなっています。



緩和ケア病棟

すべての人が癒やされる緩和ケアを提供していきます。



悪性腫瘍と診断されて、それによるつらい症状がある方に利用していただく病棟です。利用するには、緩和ケア内科外来の受診が必要です。終末期だけでなく、治療期(抗がん剤治療による副作用や放射線治療)の方も利用できます。入院中リハビリテーションもでき体調が良ければ退院を目指すこともできます。一般病棟より面会緩和をしており、ご家族と過ごしていただく時間も大切にしています。



ICU

侵襲の高い術後や全身状態が悪化した患者さんを受け入れています。



ICUでは、ベッドサイドに多くの医療機器(血圧や心電図モニター、人工呼吸器)などが設置されています。そのような環境の中、高度な医療と温かい看護を提供しています。また、薬剤師・臨床工学技士・管理栄養士・理学療法士・臨床心理士・歯科衛生士などさまざまな職種によるチーム医療をおこなっています。多くの患者さんは、数日間の入床経過を辿られた後に一般病棟に移られています。スタッフはその回復支援に使命とやりがいを持って頑張っています。

当院で働く
スタッフを
ご紹介!

きらめく★ みつびし仕事人

第3回

当院で働くスタッフを紹介するコーナー。
第3回は、地域連携室 退院支援の看護師
伊藤 洋さんをご紹介します。

退院支援ってご存じですか？

入院して治療が終われば元気に退院できるのは当たり前、
と思われる方もおられるかもしれません。ですが病気の種
類や侵襲の強い治療を受けられる場合は難しいことがあり
ます。そういう時は現在の状況を踏まえご本人や家族と話
し合い、生活の中で何を大事にし、これからどのように過
ごしたいか相談していきます。退院後も安定して生活でき
るように院内の社会福祉士と協働しながら訪問看護やケアマ
ネージャーと連携し退院に向けての支援をおこないます。入
院前から退院後まで、病気の事、生活の事を一緒に考え院
内や地域との架け橋になるのが退院支援看護師です！



患者さんの思いを大切に！

地域連携室 伊藤 洋 (いとう はるか)

「自分がされたら嫌なことは人にしない」と、子供の頃
に周りの大人に言われました。
しかし、看護師になり働き始めた頃にふと「人はみんな、
感じ方や思いはいろいろで私が感じたことを相手も
同じように感じるには限らないな…」と思うようになりました。
患者さんがどう感じているかはカルテからの情
報だけでは分からないことも多く、直接コミュニケー
ションをとり患者さんの思いやどのように感じておられ
るかを大事にしながら日々看護しています。

私にとっての退院支援とは

2度の育児休暇を経て、地域連携室に配属になりました。
病棟勤務とは異なることも多く最初は戸惑いもありまし
たが、外来・入院・退院と一連の流れを患者さんと並走
できる特殊な部署に今では魅力を感じています。
多職種と関わることも多く、看護以外のさまざまな目線
での意見を聞くことができ日々成長できる場だと思っ
ています。

TOPICS

第3回オープンホスピタルを 開催しました

医療の知識や、当院を広く知ってもらうため
11月18日(土)に「第3回オープンホスピタル」
を開催しました。当日は、この秋一番の冷え
込む気候の中、800名を超えるたくさんの方
々に参加いただきました。

「公開講座」、血糖値・血管年齢などの「測定
コーナー」、内視鏡・超音波電気メス・カテ
テルなどの「医療体験コーナー」、妊婦体験
や乳がん触診などの「子育てと女性医療の
コーナー」などさまざまなイベントがおこ
なわれました。今後も医療についての情報を
提供し、地域医療の貢献に取り組んでいき
たいと思います。



第20回 理学療法士が紹介！

健康ストレッチ



自宅で簡単にできるストレッチ・筋トレを
理学療法士がご紹介するコーナーです。

理学療法士 平山 善康 (ひらやま よしやす)

今回は『肩甲骨はがし』のストレッチをご紹介します！

肩甲骨は背中鎖骨のみとつながっています。それ以外でつながる骨がなく、首や肩などにつながるたくさんの筋肉につながっています。筋肉を介して腕や鎖骨につながっているため、腕などの動きに重要な役割を果たしています。そのため、「肩甲骨はがし」という肩甲骨の周りの筋肉をほぐすことで首や肩こりの改善につながります。奥深い筋肉は、揉んでもはがれません。ストレッチをしてはがしましょう。

① 肩甲骨をはなすストレッチ



両手を前にゆっくりと引き出す
(30秒かけてゆっくり)

② 肩甲骨をくっつけるストレッチ



肘を曲げて両肩を後ろによせる
(背骨に向かって肩甲骨がよってくるように)

③ 肩甲骨を上下させるストレッチ



肘を曲げて両肩を後ろによせる
(背骨に向かって肩甲骨がよってくるように)

新任医師のご紹介

10月より1名の医師が新しく着任いたしました。どうぞ宜しくお願いいたします。



小児科 医師
西川 慶也 (にしかわ けいや)

専門・得意分野 小児科 資格 新生児蘇生法専門コース認定

10月より小児科で勤務しています。医師5年目、小児科専攻医3年目になります。
子ども達の笑顔のため、日々精進してまいります。